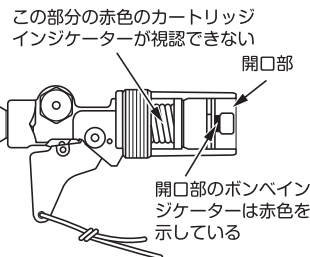


炭酸ガスボンベ、カートリッジ、シールピンの交換



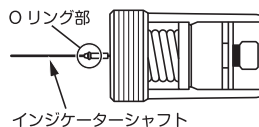
- 着水・膨脹使用後、水から上がってもカートリッジのスプリング部から、赤色のカートリッジインジケーターが視認できないときは、ガス充填装置からカートリッジを取り外さないで、販売店を通じてサービスステーションまたは弊社へ点検を依頼してください。
作動が不完全なカートリッジを取り外すと、部品が飛び出し、けがをするおそれがあります。



●カートリッジを取り扱うときの注意事項と、部品交換時の注意事項



1. 単体のカートリッジを水に漬けないでください。カートリッジのスプリングが作動して部品が飛び出し、思わぬけがの原因となります。
また、カートリッジを交換するときは、ガス充填装置の本体内部に水分が残っていないかよく確認してください。水分が残っていると、交換中にカートリッジが作動してしまうおそれがあります。
2. カートリッジの O リング部に砂やごみなどを付着させないでください。また、この部分を手で触れないでください。
O リング部にはグリースが塗ってあります。手で触ったり、砂やごみが付着すると、ガス充填装置の作動に不具合を起こすことがあります。
3. カートリッジからは、炭酸ガスボンベの封板の穴の有無を検知するインジケーターシャフトが出ています。シャフトの先が目や手に刺さると、失明や思わぬけがの原因となります。のぞき込んだりしないよう、取り扱いには注意してください。幼児には触れさせないようにしてください。
4. カートリッジを落としたり、衝撃を加えたりしないでください。予期しない作動をしたり、逆に作動しなくなったりするおそれがあります。
5. カートリッジは、交換時以外取り外さないでください。

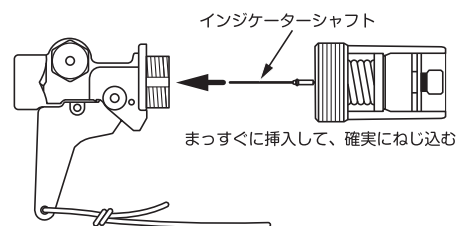


1. 予備のカートリッジを保管するときは、必ず付属のカートリッジケースに入れたまま保管してください。
2. 使用済みのカートリッジを廃棄するときは、交換で空いたカートリッジケースの中に入れて、適正に廃棄してください。
3. 炭酸ガスボンベ、カートリッジ、シールピンの交換をするときは、交換の手順を守ってください。
手順を間違えて、作動済みのカートリッジを交換する前に、新品の炭酸ガスボンベを取り付けると、ボンベに穴が開き、ボンベが使用できなくなります。

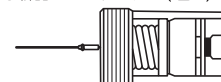
交換の手順

1. まず最初に、カートリッジを新しいものに交換します。

カートリッジからは、ポンペインジケーターを作動させるインジケーターシャフトが出ています。取り付けの際はこのシャフトを曲げないように、ガス充填装置本体の赤い部品の穴に、まっすぐに挿入して確実にねじ込んでください。



●新品のカートリッジ (図 1)



●使用済みのカートリッジ (図 2)



着水していないとき (地上で、過って握り手を引っ掛けて作動させてしまった場合など) は、図 1 の新品のカートリッジのようにカートリッジのスプリングが作動していません。この場合は、カートリッジの交換は不要です。

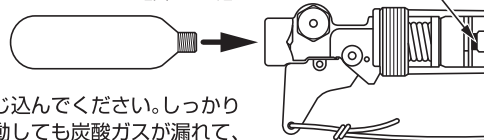


1. ガス充填装置本体内部に水分が残っていないかよく確認してから、カートリッジを取り付けてください。水分が残っていると、取り付け中にカートリッジが作動してしまうおそれがあります。
2. カートリッジは、確実にねじ込んでください。カートリッジとガス充填装置本体との間に隙間があると、カートリッジが作動しても、炭酸ガスボンベが作動しないおそれがあります。
3. インジケーターシャフトは、まっすぐに挿入してください。曲げて挿入すると、インジケーターが作動しないおそれがあります。

2. 炭酸ガスボンベを新しいものに交換します。

新しい炭酸ガスボンベを取り付けると、カートリッジ開口部のポンペインジケーターが赤色から緑色に変わります。

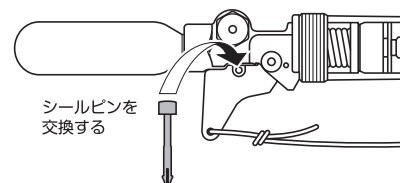
確実にねじ込む



- 炭酸ガスボンベは、確実にねじ込んでください。しっかりねじ込まないと、ボンベが作動しても炭酸ガスが漏れて、気室が膨脹しないおそれがあります。

3. シールピンを新しいものに交換します。

手動用作動索の握り手を引っ張って作動させたときは、シールピンが折損していますので、交換が必要になります。カートリッジのみが作動した自動作動の場合は、シールピンの交換は必要ありません。



以上で交換の手順を終わります。